

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 727 号
2022年1月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

謹 賀 新 年

年 初 偶 感



アスカ工業株式会社

取締役社長 天 野 卓

2022年、謹んで新年のお喜びを申し上げます。吉例によりまして、最近感じますことを述べて、新年のご挨拶とさせていただきます。

*

昨年は、一昨年につき、まさかの通年マスク着用の年となってしまいました。計画より遅れてしまいましたが職域接種も無事に行うことができ、換気を十分にして注意を払いながら業務遂行し、何が普通なのかよく分からない日常生活を続ける一年となりました。コロナ感染者数が多い中「バブル式封じ込み管理」というもっともらしい制限の下で、いつの間にかオリンピック・パラリンピックも平然と終了しました。何故か遠い昔の出来事のように感じます。

感染力の強い変異種が拡大する度に、世界的には都市封鎖で感染拡大を封じ込める

作戦が頻繁に発令されました。世界の、アジア諸国の都市封鎖が及ぼす日本経済への影響がどれほど大きいものになるのか、誰もが予測していなかったではないでしょうか。改めて、あんなものもこんなものも世界中から輸入されて来て我々の生活が成り立っているのだということ思い知らされる一年でもありました。流通在庫に助けられています、コンテナ不足も相まって、工業製品、加工食品と多種多様に渡り品不足が現実化しました。今年もまだまだ波がありそうです。

*

昨年は夏過ぎから、中国産の金属シリコンやマグネシウムの輸入が滞りました。その原因は中国政府中央の温室効果ガス排出削減の通達を地方政府が敏感に感じ取った結果でもありました。国連気候変動枠組条約締約国会議（COP会議）では、年々、



数値目標を掲げるようになりました。当社、アスカ工業(株)が10年前に移転をした大きな理由のひとつも、この温室効果ガスの排出量削減です。

1997年のCOP3で41か国間合意の京都議定書では「2008年～2012年の5年間で1990年比、5%の排出削減をめざす。」という数値目標が示されました。この数値に縛られると、当時の生産システムでは規模の拡張も難しい状況で、設備を含めて大きく考え方を必要がありました。まずは燃料を重油からガスに変更することで生産規模を確保しながら、いち早く数値目標をクリアすることに努めました。そして、その後のCOP21、COP22で発表されたパリ協定では「世界の平均気温上昇を産業革命(18世紀後半)以前比で2.0～1.5度に抑える努力をする。」と世界の大部分の国の合意を得ました。更に昨年のイギリス開催のCOP26

では、各国に踏み込んだ中期の数値目標設置を求めました。2030年に向けて一段の改善が求められます。

*

マスク生活やリモートの会話が当たり前になることに不安を感じますが、短時間の会議のための移動時間短縮は助かります。しかし、間近でお互いの顔を見ながらの会話は大変重要であることも再認識しました。

「清潔・整頓・安全」のスローガンの下、社員一同健康に過ごすことができました。需要の動向に合わせて生産を調整する一年でもありましたが、お陰様で、健全な経営に努めて参ることができました。

更なる品質向上、省エネ工夫に取り組み、SDGs推進実践企業として一層、皆様に愛されるよう努力して、80周年を迎える所存ですので、今後益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

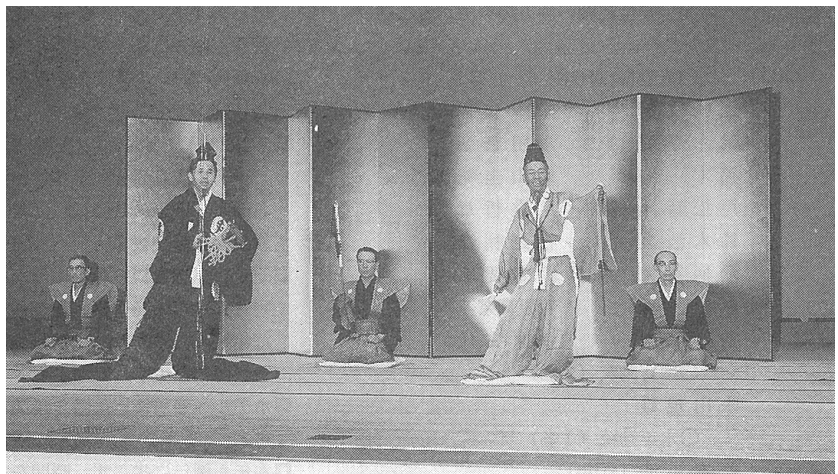
新 春 の 風 物

西尾市西野町に伝承される三河御殿万才は、文武天皇が当地に行幸の折(1230年前)、吉良の太夫の庄次という人がご前に舞い万才を唱えたのが

はじまりと伝えられている。昭和31年愛知県無形文化財に指定され、古来新春にはかかせぬ風物となっている。

三 河 万 才

あら楽しやな
鶴は千年の命鳥なり
亀は万年の
 齡を保つ
鶴にもすぐれし
亀にもまさる
千代経て千代の
八千代まで
 御万歳楽
(文化庁選択民俗芸能「西尾の御殿万歳」鶴亀より)



アルミ合金輸入量 増加 中国はマイナス

財務省発表の貿易統計によると、9月の中国からのアルミ合金輸入量は、前年同月比56%減の7,854トンで3ヶ月連続して前年実績を下回りました。

対日オファー価格の上昇で割高感が増し、国内自動車メーカーの減産で需要が減退したことでユーザーの買い控えが進みました。

マレーシアは5.8倍の3,294トンで8ヶ月連続のプラス。インドネシアは11倍の2,102トンと11ヶ月連続のプラスと新型コロナウイルスの影響でASEANの需要が減退して、代替の売り先として対日の販売攻勢が強まりました。台湾は37%減の2,607トンで7ヶ月ぶりに減少しました。

欧州・東欧などは、イタリアが10倍の3,152トンで3ヶ月連続して増加しましたが、スペインは23%減の1,595トンと4ヶ月ぶりに減少しました。

ロシアは85%増で8ヶ月連続のプラス、ウクライナは65%増で11ヶ月連続して増加しました。

9月 アルミ合金 輸入量

国名	重量(トン)	前年同月比
中国	7,854	(- 56%)
マレーシア	3,294	(+ 486%)
インドネシア	2,102	(+ 1000%)
スペイン	1,595	(- 23%)
イタリア	3,152	(+ 900%)
ナイジェリア	4,762	(+ 55%)
ロシア	19,130	(+ 85%)
ウクライナ	1,274	(+ 65%)
U A E	14,875	(+ 34%)
その他	26,965	
合計	85,003	トﾝ (+ 27%)

中国 連続減 他国へシフト

財務省発表の10月の貿易統計によると、ロシアからのアルミ合金の輸入量が前年同月比2.2倍の33,107トンと2018年以来3年ぶりに3万トンに達しました。現地政府が8月からアルミ合金に輸出関税を課し、効力発生前の7月中に一斉に船積みした玉が当月に入着して輸入量を押し上げたと思われます。

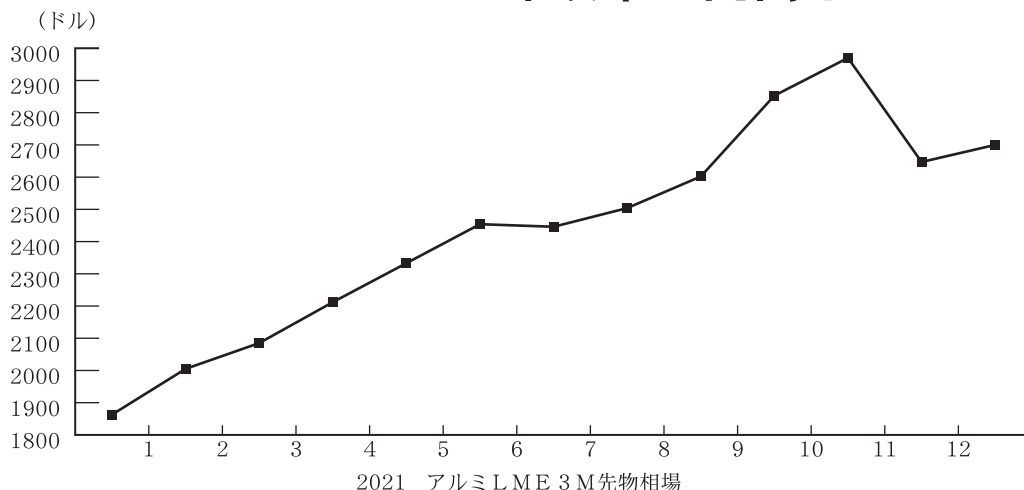
一方、中国からの輸入量は58%減と4ヶ月連続して減少し、コロナ前の4分の1以下の水準を推移しています。シリコン高の影響で中国産オファー価格の上昇で割高感が増し、一連の供給不安と併せて中国産を避けて、他国産や日本国内産を手当てする動きも加速しました。

中国産からのシフトが進むマレーシアは7,834トンと前年比9倍となり9ヶ月連続のプラス。前月の倍に増えました。インドネシアも前年比9倍の3,161トンと12ヶ月連続増加。韓国は2.4倍の2,014トンで7ヶ月連続増、台湾は12%増の3,079トンで2ヶ月ぶりのプラスでした。

10月 アルミ合金 輸入量

国名	重量(トン)	前年同月比
中国	7,746	(- 58%)
マレーシア	7,834	(+ 816%)
インドネシア	3,161	(+ 800%)
スペイン	2,435	(+ 251%)
イタリア	949	(+ 180%)
ナイジェリア	6,486	(- 5%)
ロシア	33,107	(+ 119%)
ウクライナ	1,011	(+ 86%)
U A E	22,196	(+ 40%)
その他	25,720	
合計	110,645	トﾝ (+ 38%)

LME 2008年以来の乱高下



社内情報

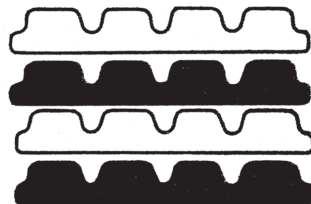
- ◎新年恒例の「商売繁盛・交通安全祈願会」は安全を配慮し、本年も中止とさせていただきます。
- ◎三密を避けるために、三ヶ根観音へは当社が代参し、安全祈願をして参ります。ご了承ください。
- ◎昨年秋の中国の電力供給制限による金属シリコン不足対策で他国からの輸入も始めました。

編集後記

- ☐明けましておめでとうございます。本年も引き続き皆様のご支援を頂きますようお願い申し上げます。
- ☐新型コロナウイルスの変異種の感染拡大が危惧されます。三回目ワクチン接種の検討が必要です。
- ☐感染拡大によりアジア諸国で再度のロックダウンが始まると、経済打撃は計り知れません。

アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)
アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>